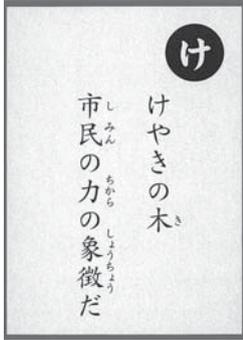
かるたでしもつけ再発見

『下野市ふるさとかるた』今月は「け」です

　市内のあちこちでみかける「けやき」。すっと上に伸び、新緑や紅葉が美しい樹木です。
　風よけの屋敷林のほか公園や街路樹などに植栽されて親しみがあるうえ、半球状に伸びる枝が、市民が手を取り合って育ちゆく様を象徴するのに相応しいとのことから、下野市合併時に「市の木」として決定しました。
　日本でも広く分布しており、多くの自治体でシンボルにけやきを選んでいます。
　花はあまり目立ちませんが、4月に葉の展開と一緒に開きます。葉がつく高い場所に咲くため見つけづらいかもしれません。
　けやきは古来より木材として利用され、木目の美しさや固い木材ながら加工も困難でないことから、一般の家庭はもちろん、神社仏閣の家具や建具などに用いられました。また和太鼓の胴などにも用いられます。
　けやきの呼び名は、「けやけき」木が由来とされています。「けやけき」とは「きわだって目立った、特別な」などの意味があり、その姿の美しさも昔から人々に親しまれてきました。
　栃木県指定の天然記念物になっているけやきも多く、隣り壬生町の円宗寺のけやきは、樹齢約600年と言われ、2本の木が根元でくっつきひとつになっている姿から縁結びのけやきと言われています。

け
けやきの木
市民の力の象徴だ

男女共同参画社会

まだまだ足りない「イクメン」！

　育児に積極的に参加する男性「イクメン」。言葉自体は浸透しましたが、「男は仕事、女は育児」という固定概念は、依然として残っているようです。
　ノルウェーなどの北欧先進諸国では、6歳未満の子どもがいる夫婦の夫の家事・育児時間（1日あたり）は、約3時間であるのに対して、日本では、約1時間となっており、他の先進国と比べて最低水準となっています。日本では、約3割の男性が「育児休業を取得したい」と希望している一方で、実際の取得率は約2%にとどまっています。
　このような状況は、子どもをもつことや妻の就業維持に対して悪影響を及ぼしている可能性があり、イクメンの人口拡大が求められています。
　イクメンになるためには家族を1つのチームととらえ、家事や育児は、男性と女性が共に考え、協力するという意識が必要となります。まずは、夫婦内のスケジュールを共有し、お互いにできることを確認してみてはいかがでしょうか。

■問い合わせ先
市民協働推進課☎(40)5585

まずは相談

電気ストーブ火災に注意！

　電気ストーブによる火災が多発しています。電気ストーブは石油ストーブと比べると安全だと思われがちですが、使い方を誤ると大変危険です。取扱説明書をよく読み、安全に正しく使いましょう。
　布団、洗濯物、新聞など、燃えるものをストーブの近くに置かないようにしましょう。
　その場を離れる時や就寝時には必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く習慣をつけましょう。
　電源プラグや電源コードにほこりが付着しないよう、こまめに清掃、点検をしましょう。

下野市消費生活センター
専用ダイヤル(44)4883
国分寺庁舎2階
安心安全課内

■相談日時　月～金曜日
（祝日・年末年始を除く）
午前9時～午後5時（正午～午後1時を除く）
※来所での相談の場合は、事前に電話でご予約ください。
※土曜日の電話相談は栃木県消費生活センターへ
☎028(625)2227

しもつけミニ情報

音声版広報（デイジー版CD及びテープ版）が無償でご利用できます。
この音声版は音訳ボランティアさんのご協力をいただき作成しています。
ご希望の方は、社会福祉協議会ボランティアセンター　☎(43)1236までご連絡ください。

わかるかな？ まちがいさがし

2枚の写真には違っているところが3つあります。
見つけてみてください。
（印刷の汚れは除く。）

※答えは55ページ

国際交流協会イースター・エッグ作り▶